

所在: 中野市

取組主体: 有限会社 にんにくふあーむ

取組開始時期: 平成21年

取組分類: 企業参画型 (民間企業へ市が情報提供)

解消面積: 11.8ha (H21～H25年)

導入作物: 無臭にんにく

販売先: 小売店補ほか

1. 取組のきっかけ・経緯

無臭にんにくの加工・販売を行う株式会社オサダが、生産部門として有限会社 にんにくふあーむを設立し、1グループ内で生産から販売までを行う一貫した体制整備を行った。

経営規模の拡大を計画する中で、生産量の増加を図るため、栽培に適当な農地を探していたところ、中野市から耕作放棄地となっている土地の情報提供を受け、交通の便が良いなど地理的条件等に恵まれた連担する一団農地である当該耕作放棄地の再生に取り組むものとした。



2. 取組内容(予定)

耕作放棄地となり年数が経過していたため、農地への再生には、かなりの費用と労力を要した。具体的な再生等の取り組みは次のとおりである。

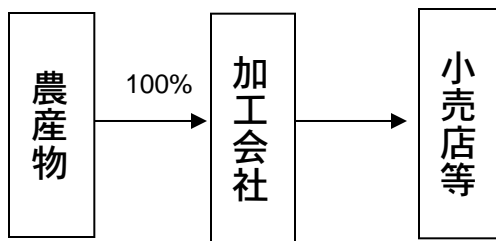
- ・農地整備 重機等を用いて雑木等の伐採、抜根、整地等
- ・土壌改良 耕起、堆肥搬入等
- ・営農活動 仕上げ耕起、マルチ張り、種子植え付けほか

年度	H21	H22	H23	H24	H25	合計
取組面積	2.8ha	2.4ha	3.4ha	1.6ha	1.6ha	11.8ha

3. 販売計画

消費者の健康志向に対する関心の高まりを受け、安全安心な作物栽培にこだわり、無農薬、有機栽培に取り組み、付加価値の高い健康食品その他への加工等を行っている。

加工は、グループ会社の株式会社オサダが実施し、加工製品は、小売店を通じ、一般消費者へ販売を行っている。



4. 将来構想(今後の展開方針)

一層の経営規模拡大を目指し、栽培農地面積を現状から増やし、25ha～30haとしたいと考えている。

農産物の生産に関しては、農地の拡大を図るに当たり、費用、労働力等を考慮し、より効率的な栽培を行う観点から、一定の農地での生産については委託方式を視野に入れている。委託農家については、生産方法の指導や生育状況の確認等を行い、安定した生産、販売により耕作意欲の向上を図り、耕作放棄地の防止を図りたい。

加工製品の販売についても、農産物の生産増加に見合う、新製品の開発、販路の拡大を図りたい。